

第70期

中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第70期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の事業概況につき、中間報告書を作成いたしましたので、次のとおりご報告申し上げます。

なにとぞ株主の皆様のご支援をお願い申し上げます。

平成20年11月

取締役社長 **牧野二郎**

当中間期の経営成績

当期に入り、前年に米国で始まった金融不安の影響が世界の市場に広がり、さらに、各国の実体経済に波及してまいりました。

このような環境の中で、当社グループの受注状況は厳しい水準となりました。日本市場においては、回復の兆しがあった金型産業向けの需要が伸び悩みました。アジア市場においては、中国、インドにおいて金融引締めの中で設備投資が抑制された結果、一時的に受注の減速が広がり、前年を下回る結果となりました。ヨーロッパ市場においては、高水準で推移しましたが、一般機械向けの需要が減少し、受注は微減となりました。

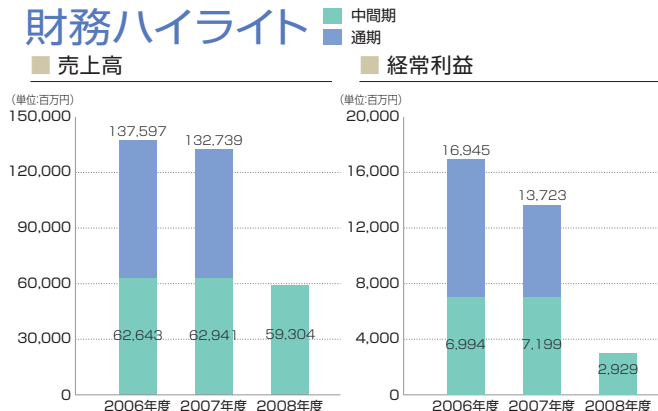
一方、原油・原材料の価格上昇によって自動車産業、航空機産業などで燃費効率向上への投資が増えました。特に、アメリカ市場においては、航空機向け受注の下支えとなり、9月初旬のシカゴショーも盛況でした。また、エネルギー関連産業を中心として資源開発が盛んになり、これらの産業は、工作機械の需要増に貢献いたしました。

しかしながら、期末の米国大手証券会社の破綻による金融危機をきっかけに、経済状況が急速に悪化しています。工作

目次

株主の皆様へ	1
連結財務諸表	3
主な海外拠点及び地域別売上高推移	5
トピックス、会社の概要	7
当社製品及び機種別売上高実績	9
株式の状況、株主メモ	10

財務ハイライト



機械の重要な納入先である自動車産業は、総じて能力増強設備への投資を見送り、計画の見直しを余儀なくされています。また、当社の主要市場である金型産業は、一部に順調な地域や業種があるものの、設備投資の意思決定には慎重になっています。

このような状況下にありながら、当社グループは、顧客のニーズを反映させた製品開発と先進技術を提案し続けております。

第1四半期より発売を開始した5軸制御立形マシニングセンタ「D500」は、その精度と高速性が評価され、特に省エネ・環境対策を見据えた先行投資を進める顧客層から強い支持を受けております。また、従来、当社の放電加工機開発は、金型加工の特定分野にターゲットを絞ったものでありましたが、広い範囲の加工、とりわけ需要増の見込まれる医療機器部品や航空機部品用難削材の加工にも応えられるワイヤ放電加工機「DU043」及び「DU064」を市場に投入しました。さらに、金型の中で特に精度の要求される分野向けに、極めて高い加工精度を持つ次世代マシニングセンタ「FB127」を発表しました。金型市場においては、現行の機種に大幅な新規設計を行い、次世代の幅広い需要を取り込める新型立形マ

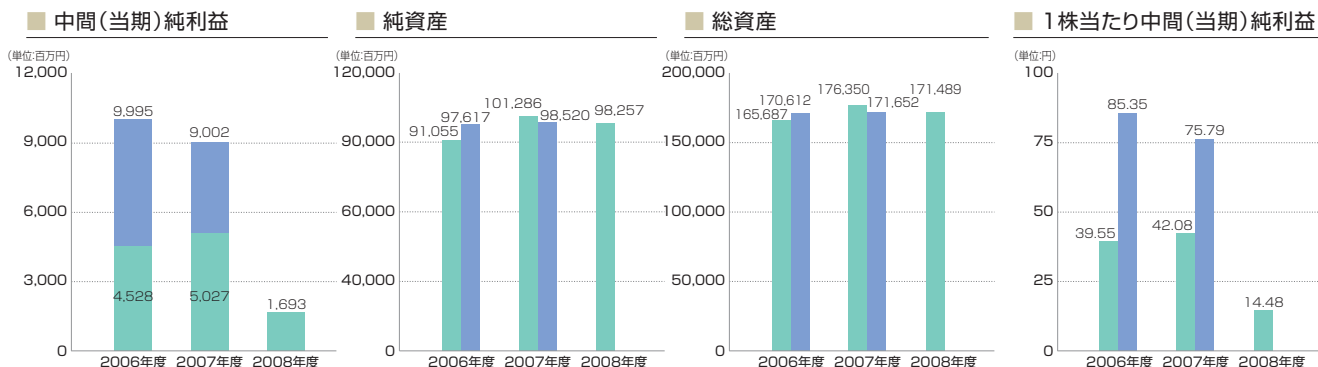
シニングセンタ「V56i」を開発しました。顧客層が技術革新による研究開発投資主体で推移する中、自動車の軽量化が量産段階を迎えることも見据え、量産部品加工分野向けに横形マシニングセンタ「J5」を開発しました。

最後に、航空機市場については、アルミ製の航空機用構造部品加工に特化したMAGシリーズに、最も小型の機種として5軸制御横形マシニングセンタ「MAG1」が加わり、アルミ製の航空機用構造部品加工分野においての同シリーズのデファクトスタンダードとしての地位を確実にしようとしています。一方で燃費効率改善のための難削材の加工の研究も続けており、常に顧客の要求に応えられるように取り組んでおります。

変化する外部環境の中で、当社グループは開発部門の計画は予定通り行い、生産部門においては合理化を推進し、それ以外の部門においても体制の見直しを実行します。

当中間期は、世界的な景気悪化を受け、連結売上高593億4百万円、連結営業利益29億17百万円、連結経常利益29億29百万円、連結純利益16億93百万円となりました。

以上のような状況を勘案し、予定通り1株につき7.5円の間配当を行いたく存じます。



□ 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円 百万円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間末 平成20年9月30日	前中間連結会計期間末 平成19年9月30日
(資 産 の 部)		
流 動 資 産	114,043	115,938
現金及び預金	27,351	23,147
受取手形及び売掛金	37,506	41,700
有 価 証 券	2,346	6,642
た な 卸 資 産	40,439	37,274
繰延税金資産	3,402	3,024
その他の流動資産	3,361	4,551
貸倒引当金	△ 366	△ 402
固 定 資 産	57,446	60,411
有形固定資産	40,489	37,795
建物及び構築物	23,491	20,957
機械装置及び運搬具	3,637	3,582
工具器具備品	3,036	2,681
土 地	9,552	7,624
建設仮勘定	770	2,949
無形固定資産	877	636
投資その他の資産	16,079	21,980
投資有価証券	9,750	14,632
長期貸付金	536	715
繰延税金資産	664	1,168
その他の投資	5,303	5,586
貸倒引当金	△ 50	△ 122
投資損失引当金	△ 126	—
資 産 合 計	171,489	176,350

科 目	当中間連結会計期間末 平成20年9月30日	前中間連結会計期間末 平成19年9月30日
(負 債 の 部)		
流 動 負 債	42,546	50,372
支払手形及び買掛金	20,200	22,976
短 期 借 入 金	6,244	6,460
一年以内に返済予定の長期借入金	2,386	3,103
未払法人税等	1,722	2,599
その他の流動負債	11,992	15,233
固 定 負 債	30,686	24,692
社 債	20,000	10,000
長 期 借 入 金	4,620	7,006
繰延税金負債	2,713	4,602
退職給付引当金	1,570	1,224
役員退職引当金	1,264	1,215
その他の固定負債	516	642
負 債 合 計	73,232	75,064
(純 資 産 の 部)		
株 主 資 本	95,549	93,947
資 本 金	19,263	19,263
資 本 剰 余 金	32,595	32,619
利 益 剰 余 金	45,951	42,445
自 己 株 式	△ 2,260	△ 380
評価・換算差額等	△ 96	4,722
その他有価証券評価差額金	3,167	6,202
為替換算調整勘定	△ 3,263	△ 1,479
少数株主持分	2,804	2,615
純 資 産 合 計	98,257	101,286
負 債 純 資 産 合 計	171,489	176,350

□ 中間連結損益計算書

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間 自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日
売 上 高	59,304	62,941
売 上 原 価	41,386	43,421
売 上 総 利 益	17,917	19,520
販売費及び一般管理費	14,999	12,905
営 業 利 益	2,917	6,615
営 業 外 収 益	760	977
受取利息及び配当金	186	192
為 替 差 益	279	590
そ の 他 の 収 益	294	194
営 業 外 費 用	748	393
支 払 利 息	241	283
そ の 他 の 費 用	506	109
経 常 利 益	2,929	7,199
特 別 利 益	30	21
固 定 資 産 売 却 益	12	21
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	17	—
特 別 損 失	46	365
海外子会社営業権評価損(注)	—	286
固 定 資 産 除 却 損	43	39
投 資 有 価 証 券 評 価 損	3	12
た な 卸 資 産 処 分 損	—	27
税金等調整前中間純利益	2,912	6,854
法人税、住民税及び事業税	1,089	2,137
法 人 税 等 調 整 額	—	△ 497
少 数 株 主 利 益	130	186
中 間 純 利 益	1,693	5,027

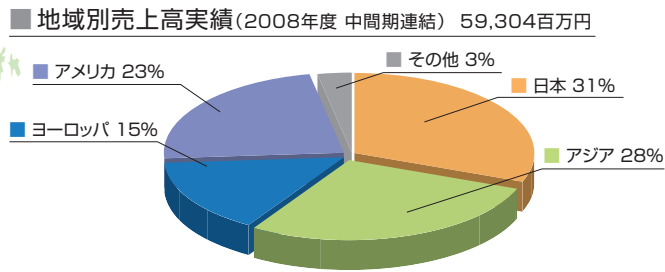
(注) 米国連結子会社において発生している営業権は、米国財務会計基準書第142号に基づき処理しております。

□ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間 自 平成20年4月 1日 至 平成20年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成19年4月 1日 至 平成19年9月30日
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△ 67	3,434
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△ 5,763	△ 1,936
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	9,221	△ 104
現金及び現金同等物に 係る換算差額	17	△ 166
現金及び現金同等物の 増 加 額	3,408	1,226
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	25,621	27,761
連結子会社増加に伴う現金 及び現金同等物の増加額	—	384
現金及び現金同等物の 中 間 期 末 残 高	29,029	29,371

主な海外拠点及び地域別売上高推移



MAKINO INC. (アメリカ・メイソン)

テクニカルセンタ

販売、サービス、機械展示、アプリケーションサポートの各機能を持つ拠点です。

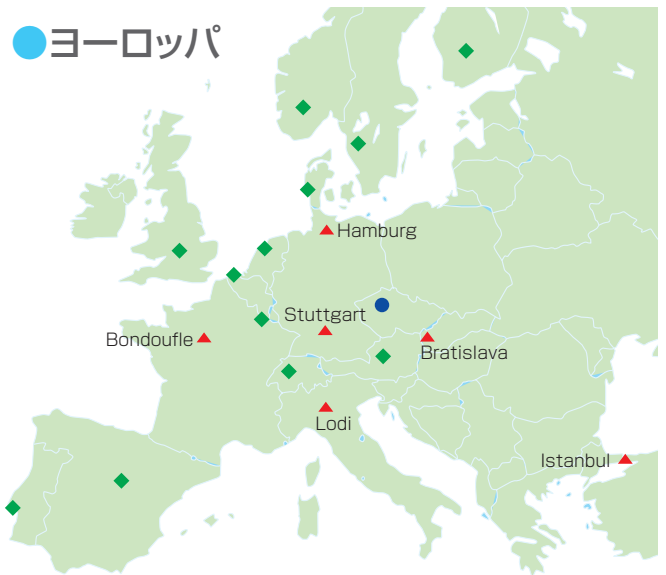
ヨーロッパにはドイツ、フランス、イタリア、スロバキア、トルコ、北米にはアメリカ、カナダにあります。

営業所

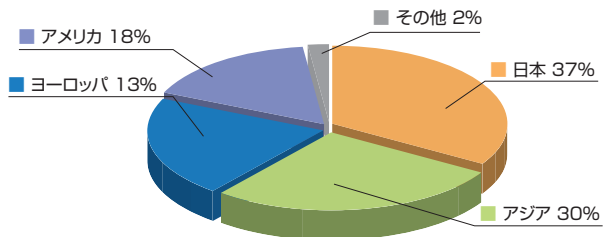
販売、サービスの機能を持つ拠点です。



Makino s.r.o (スロバキア・ブラチスラバ)



■ 地域別売上高実績(2007年度 中間期連結) 62,941百万円



- ★ 工場／テクニカルセンタ
- ▲ テクニカルセンタ
- 営業、サービス拠点
- ◆ 代理店

● アジア



テクニカルセンタは、アジアにはシンガポール、中国、インド、タイにあります。



MAKINO INDIA PRIVATE LIMITED
(インド・バンガロール)

〈新製品〉

航空機用アルミ部品加工での地位確立へ

航空機市場における、アルミ製の機体構造部品加工に特化した5軸制御横形マシニングセンタ「MAG」シリーズを2000年に発表し、評価をいただけてきました。このたび最も小型の「MAG1」をシリーズに加え、この分野における同シリーズのデファクトスタンダードとしての地位を確実にしようとしています。



5軸制御横形マシニングセンタMAG1

省エネ・環境対策用の技術開発投資に対応

金型や航空機部品の加工に最適な5軸制御立形マシニングセンタです。精度と高速性が評価され、とくに省エネ・環境対策を見据えた先行投資を進める顧客層から強い支持を受けています。



5軸制御立形マシニングセンタD500

高速加工でも、 ワイヤ線消費を33%低減に成功

高能率と経済性を両立したワイヤ放電加工機「DUOシリーズ」2機種を発売しました。金型はもちろん、需要増の見込まれる医療機器部品やジェットエンジン部品を高速、高精度に加工します。さらに、使用するワイヤ線の消費を33%低減する「エコスピード」の開発に成功し、多くの注目を集めています。



ワイヤ放電加工機「DUO043」「DUO064」

マシニングセンタでは困難とされた 超高精度加工に挑戦

精密機械部品や金型のベースプレートを超高精度に加工する立形マシニングセンタを開発しました。従来ジグボーラ、ジググラインダといった、複数の超精密加工機を使用して加工していた加工物を、この1台に取り込むことができる新しいコンセプトが大きな反響を呼んでいます。



立形マシニングセンタ「FB127」

資金調達状況

運転資金および設備に充当するために、次の通り資金調達を実施しました。

- ・社債の名称 第4回無担保社債
- ・発行日 平成20年7月28日
- ・社債総額 100億円
- ・利率 年1.7%
- ・償還期限 平成25年7月26日

自己株式の取得について

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式の取得を現在実施しております。

実施中の自己株式取得

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得しうる株式の総数	2,500,000株（上限）
買付総額	500百万円（上限）
取得期間	平成20年11月4日 ～12月19日

会社の概要（2008年9月30日現在）

- 社 名 株式会社 牧野フライス製作所
- 英文社名 Makino Milling Machine Co., Ltd.
- 所在地 東京都目黒区中根 2丁目3番19号
〒152-8578 電話 03(3717)1151(代表)
- 創 業 1937年5月
- 資 本 金 19,263百万円
- 従 業 員 1,363名(単体) 3,988名(連結)
- ホームページアドレス <http://www.makino.co.jp/>
- 主要な事業内容

工作機械（マシニングセンタ、NC放電加工機、NCフライス盤、フライス盤、FMS、CAD/CAMシステム等）の製造・販売及び修理

取締役及び監査役

※取締役社長	牧野 二郎
※専務取締役	牧野 英一
※常務取締役	細島 英一
取 締 役	箕沢 夫
取 締 役	香村 夫
取 締 役	香村 明
取 締 役	饗達 吾
取 締 役	鈴木 幸
取 締 役	田村 泰
常勤監査役	鈴木 宏
常勤監査役	福井 英
監 査 役	尾 弘
	久 弘

※印は代表取締役です。

当社製品及び機種別売上高実績

マシニングセンタ

マシニングセンタは工作機械の1つで、工具を自動で選択・交換ができ、穴あけや面削り等複数の加工を1台でこなします。

工具を取り付け回転させる主軸が垂直位置の立形マシニングセンタと水平位置の横形マシニングセンタがあります。



当社の立形マシニングセンタは主に金型の加工に使われています。



当社の横形マシニングセンタは自動車、航空機、建設機械、エネルギー関連及び半導体製造装置などの産業で使用する部品の加工に幅広く使われています。



放電加工機

放電加工機は電気による放電エネルギーを利用して加工を行う機械です。放電を行う電極の種類により形彫放電加工機とワイヤ放電加工機に分けられます。

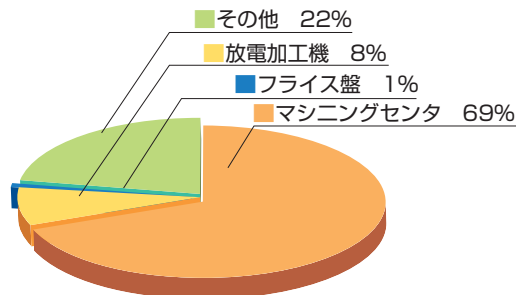


ワイヤ放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品、半導体などの精密金型の加工や医療機器などの精密部品の加工に使われています。



形彫放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品及び半導体などの金型の加工に使われています。

機種別売上高実績



59,304百万円
(2008年度中間期連結)

フライス盤



フライス工具と呼ばれる工具を回転させ平面、曲面、溝などを加工する機械です。

株式の状況、株主メモ

株式の状況 (2008年9月30日現在)

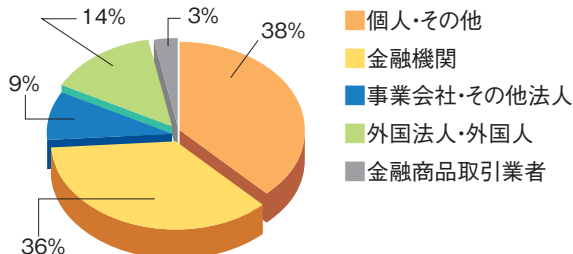
- 発行済株式総数 119,944,543株
- 株主数 13,351名
- 大株主(上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数の割合 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,929	9.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,418	6.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	6,649	5.54
財団法人工作機械技術振興財団	4,469	3.73
清水正利	2,654	2.21
牧野二郎	2,492	2.08
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,180	1.82
日本興亜損害保険株式会社	2,136	1.78
牧野駿	1,967	1.64
日本生命保険相互会社	1,760	1.47

(千株未満切捨て)

(注) 当社は自己株式を3,087千株(2.57%)所有しておりますが、上記には含めておりません。

●所有者別株式分布



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
(下記ご注意ください)

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に登録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

電話 0120-244-479 (フリーダイヤル)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.makino.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ

1. 特別口座について

(1) 特別口座への口座残高の記帳

株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

(2) 特別口座に記録された株式に関するお手続き

特別口座に記録された株式に関するお手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取請求・お届け住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。

(3) 特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(4) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

2. 株券電子化前後における単元未満株式買取請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

(1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式

平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。

また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。

(2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

3. 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関(証券保管振替機構)で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えるうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。

<ご参考>

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&A(<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>)等をご参照ください。

また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、

「株券電子化」なんでも相談窓口(「株券電子化コールセンター(*)」)

電話 0120-77-0915 (フリーダイヤル 平日・土曜/9:00~17:00)

までお問い合わせください。

(*) 株券電子化コールセンターは、(株)証券保管振替機構、日本証券業協会、(株)東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。

株式会社 牧野フライス製作所

本社 〒152-8578 東京都目黒区中根2-3-19

電話 03 (3717) 1151(代)

ホームページ <http://www.makino.co.jp/>



環境に配慮した大豆由来のインクを使用しています。